

(1) 全体的な事項

事業計画地は大年寺風致地区内にあり、都市部に残された保存緑地などの一団の緑地に囲まれている。また、直近には仙台市野草園もあり、計画地を含む周辺一帯は自然との触れ合いの場、すぐれた歴史的風土を保全すべき場所として位置づけられているとともに、本市のランドマークとして景観が印象づけられる地域である。

これらのことから、環境影響評価及び事業実施にあたっては、周辺環境に対して十分に配慮すること。

(2) 大気環境の保全に関わる事項

工事中における工事用車両の稼働台数や建設機械の稼働台数が少ないということから、大気質、騒音並びに振動の評価項目を配慮項目として選定しているが、計画地周辺の道路環境や住環境を考慮するとともに、具体的に配慮内容を記述すること。

(3) 電波障害に関する事項

電波障害のシミュレーションについて詳細に記述すること。

(4) 景観に関する事項

当該事業は高層工作物を建設するものであるため、景観に関する予測、評価は特に重要であり、アンテナ装備の各段階におけるシミュレーションを用いること。

また、シーン景観だけではなくシークエンス景観についても予測、評価を行うこと。

(5) 廃棄物等に関する事項

既存建築物及び既存鉄塔の解体工事に関しても、廃棄物の予測、評価を実施すること。